

令和4年度

子ども図書研究室講演会

言葉の発達、

思考の発達を助ける

絵本読みと読書

参加
無料

令和4年

7月5日(火)

@県立中央図書館講堂

13時～15時 定員 50人

講師 今井 むつみ 氏



慶應義塾大学環境情報学部教授。
認知科学、特に認知心理学、発達心理学、言語心理学の分野の研究者。
特に語彙（レキシコン）と語意の心の中の表象と習得・学習のメカニズムに関する研究を行う。

<講師より>子どもはことばの意味を自分で考えることによって単語を覚え、語彙をつくっていきます。そして、ことばを覚えることは考える力の発達に深く関与します。当然ながら、ことばの力と考える力は学力にも大きく影響します。幼い時からの絵本読みはことばの発達にも思考の発達にも大きな役割を果たします。

この講演では、「ことばを覚える仕組み」「ことばと考える力の関係」「絵本読みと読書の役割」を3本の柱にして、子どものことばの力を育て、考える力を発達させるために、大人は何をしたらよいのか、特に絵本を読んであげることが、小学校入学以降の読解力、問題解決力にどのように関わっているのかを、認知科学のエビデンスをもとに読み解きます。

主たる著作

- 『英語独習法』岩波書店(2020)
 - 『親子で育てることば力と思考力』筑摩書房(2020)
 - 『学びとは何か―〈探究人〉になるために』岩波書店(2016)
 - 「認知科学のススメ」シリーズ 第1巻『はじめての認知科学』新曜社(2016)
 - 『言語と身体性』岩波書店(2014)
 - 『言葉をおぼえるしくみ：母語から外国語まで』筑摩書房(2014)
 - 『ことばの発達の謎を解く』筑摩書房(2013)
 - 『新・人が学ぶということ：認知学習論からの視点』北樹出版(2012)
 - 『ことばと思考』岩波書店(2010)
 - 『レキシコンの構築：子どもはどのように語と概念を学んでいくのか』岩波書店(2007)
- 他多数。一部共著、編著の著作を含む。

子ども図書研究室とは

「子どもと本を結ぶ活動」に関わる方々を支援することを目的とし、平成15年以降に刊行された児童書や絵本のほぼすべてを研究用として収集しています。

研究室では、子どもと本を結ぶ活動に関わる方の専門的知識習得や技術・資質向上のために、毎年、講演会を開催しています。

申込方法	①来館②Tel.054(262)1246③ふじのくに電子申請サービス ※先着順
受付期間	5月26日(木)10時～7月1日(金)17時まで
問い合わせ	静岡県立中央図書館企画振興課 電話 054-262-1246 ※講演会に関する最新情報は当館ホームページをご覧ください。



ふじのくに電子申請サービスはこちらから